

認知症、広がる支援の輪

高齢化が進む現在、65歳以上の4人に1人が認知症あるいは認知症の予備軍と言われ、誰もが認知症になったり、家族として介護したりする可能性のある時代になっています。

そのような中、認知症の人やその家族が地域で安心して暮らすためには、地域における理解の輪、支援の輪を広げていくことが大切です。

こうした支援の輪を広げるための本市の取り組みを紹介します。



認知症の人や家族を見守る

認知症サポーター

認知症サポーターとは

認知症について正しく理解し、認知症の人や家族の良き理解者として見守る応援者のことです。



認知症サポーター養成講座

認知症サポーターを養成するための講座を市内各地で開催し、希望する団体に、講師（キャラバンメイト）を派遣しています。

■登録人数
25,093人
(令和元年7月末時点)



地域の活動に参加

認知症フレンズ

認知症フレンズとは

認知症サポーターから一歩踏み出し、認知症の人や家族を支えながら、仲間や友人のように一緒に歩むパートナーです。認知症フレンズ養成講座(全3回)を受講して、希望した人が登録できます。

主な活動

- ・認知症の人と家族の会の活動に参加
- ・認知症カフェのスタッフ
- ・認知症啓発イベントのスタッフ
- ・認知症サポーター養成講座の補助

一歩
進んで

みんなと一緒に
だったので、
楽しく参加できた

認知症フレンズの声

介護中だが
気分転換になった

何か役に立てれば
と思った



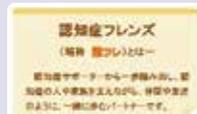
ハピサポフェスタ(認知症啓発イベント)

認知症フレンズ登録証

表



裏



10/19(土)

認知症の人と一緒にタスキをつなぐ「RUN伴」(桑名・四日市・鈴鹿・いなべルート)

認知症の人と一緒にみんなでタスキをつないで日本を縦断するイベントが「RUN伴」です。この活動で、地域の人と認知症の人が出会うことが、地域をつくるはじめの一歩になります。

■ 9月17日までに、NPO法人認知症フレンドシップクラブ

ホームページ [HP](https://runtomo.org/entry/) <https://runtomo.org/entry/> へ 料 2,500円/人

■ 問 RUN伴2019三重実行委員会 長谷川 (☎090-2261-9243)

11:00頃 四日市看護医療大学

13:30頃 四日市市民公園

15:00頃 楠保健福祉センター
ゆりかもめ

沿道からのご声援を
お待ちしております

